

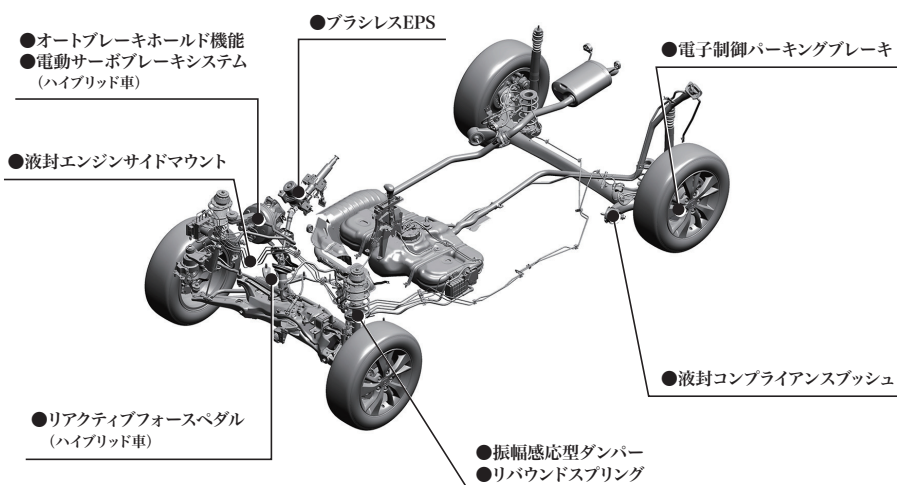
上質な乗り心地とリニアなハンドリングを高次元で両立した、先進のシャシーシステム。

ゆとりのグラウンドクリアランスを持つハイライダーでありながらも、セダン感覚の上質な乗り心地とリニアなハンドリングを追求。重心とロールセンター高を低く抑えるとともに、安定感のある前下がりロール姿勢を実現したうえで、ダンパー減衰特性の最適化などにより、乗り心地と操縦安定性を高い次元で両立させました。

乗り心地と操縦安定性を両立させ、スペース効率にも優れたサスペンションシステム

フロントにスペース効率に優れたマクファーソン・ストラット式、リアにはH型トーションビーム式サスペンションを採用。専用設計により、ワイドトレッドと低ロールセンター高を実現したうえで、振幅感应型ダンパーやリバウンドスプリング、液封コンプライアンスブッシュを採用し、乗り心地と操縦安定性を高い次元で両立させました。また、リアサスペンションをコンパクト設計とすることで、ハイブリッドシステム主要部品の荷室床下配置を実現。ハイブリッド車やハイブリッドAWD車においても、ガソリン車同等の使いやすい荷室を実現しています。

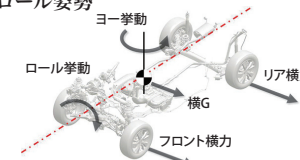
■主なシャシー技術 (FF車)



優れた操縦安定性と安心感をもたらす、低く前下がりのロール姿勢

フロントのロールセンター高をリアに対し低く設定し、前下がりロール姿勢を実現。コーナリング時の優れた応答性と操縦安定性を獲得するとともに、自然なロール感で安心感も高めました。

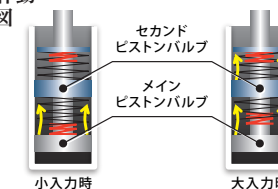
■前下がりロール姿勢説明図



走行シーンに応じて最適な減衰特性を発揮する振幅感应型ダンパー

フロントに採用した振幅感应型ダンパーは、メインピストンバルブに加え、セカンドピストンバルブを備えています。フラットな路面でストロークが短いとき(小入力時)には、主にメインピストンバルブが作用し低い減衰力で乗り心地を確保。タイトなコーナーなどでストロークが長いとき(大入力時)には、メインピストンバルブとセカンドピストンバルブがそれぞれ作用し、高い減衰力で車両姿勢を安定化します。ピストンスピードが同じであっても、シーンに応じた最適な減衰特性によって、乗り心地と操縦安定性を高い次元で両立させることに寄与しています。

■ダンパー作動イメージ図



旋回時の安定性を高めるリバウンドスプリング

サスペンションに大きな力が加わった際、伸び側のストロークを抑制するリバウンドスプリングをフロントサスペンションに採用。振幅感应型ダンパーとともに旋回時の姿勢を安定化します。

■リバウンドスプリング構造図

